



秋吉 淳一さん(下唐原)



地域の史跡を知り 先人の想いに学ぶ...

古事記に「稽古照今」の語があります。「稽古」は、芸能・武術・技術などを習うこと、または練習の意で用いられています。本来は「をえる」こと、後段の「照今」は「今に生かす」で、意識は「先人の教えに学んで、今を生きる指針として活かす」だそうです。

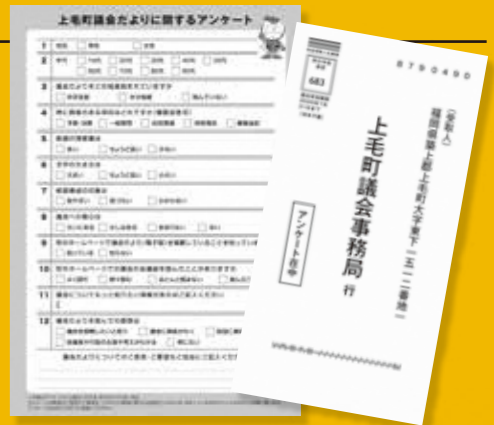
町名の「上毛」も、先人の想いを尊び、受け継いだ後、更なる発展を図る心意気を込めて命名されたのだと思います。私は、シルバード世代が集い「稽古照今・下唐原・友の会」の愛称のもと、足元の歴史や史跡などの成り立ち、背景を次世代へ案内しようとして、5年ほど前から活動しているサークルの一員です。

これまで、「稻荷神社の由来と農耕」、「前方後円墳」、「庚申塔三戸の虫」、「秋吉城跡」など7本の筒型碑と案内板を掲げました。近々のトピックは「ネットの古墳マップ」に、昨年11月8日に建立した「前方後円墳」碑が、「最寄りの道路に手作り感の溢れる塩ビパイプ製の看板あり」のコメントを添えて写真(2018年3月18日撮影)付きで紹介されたことで、仲間にも笑顔がこぼれました。「友の会」は小さなサークルですが、現在の活動に加え、山国川恒久橋へ至る住環境の美化(草取り)に活動を広げています。

近隣には、仲間づくりに資するためのヒントがたくさん埋もれています。これからは、『お弘法さん』や『下唐原の山国川の渡し』など、身近な話題を共有してのワイワイガヤガヤ的な連携のベルトづくりができれば...と、仲間と模索していきます。括りに、後漢書・馬援伝の「老当益壯」の一説を添えて、シルバードサークル「下唐原・友の会」活動紹介のペンを置きます。

議会だよりアンケートのお願い

上毛町議会だよりも発行から51号を迎えることができました。今後のより良い誌面づくりのため、皆様のご意見などをお聞きし、その結果を反映させていきたいと考えています。返信用封筒の中に同封されているアンケート用紙に記載し、名前などは記入せずに投函願います。切手は不要です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。※この調査につきましてご不明な点がございましたら、議会事務局までお気軽にお問い合わせください。※アンケートは8月31日までに投函してください。



議会傍聴のご案内

- 9月定例会の予定**
- 9月4日(火) 午前10時**
本会議(開会、議案の説明・質疑)
- 9月7日(金) 午前10時**
本会議(一般質問)
- 9月14日(金) 午前10時**
本会議(討論・採決)

日程については変更になる場合があります。会期日程は、町長招集告示の後、8月31日開催予定の議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

■開催場所 たいへいの里(大平支所)2F議場

広報特別委員会
委員長 高畑 廣視 副委員長 宮本 理一郎
委員 三田 敏和 宮崎 昌宗 廣崎 誠治
田中 唯登志 岩花 寛之

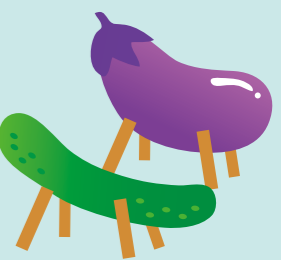
高畑 廣視

編集後記

マーフィの法則

大阪に住む孫は小学生。マンション住まい。年に数回帰省する。田舎には仏壇があるのは珍しくもないが、孫には珍しい。ある時、「じいじい、ロウソク点けていい?」と聞く。ぎこちない仕草でマッチを擦り、ロウソクに火を点けその炎に線香の中心を当てる。火が点いたところで二つに折り、灰容器に寝かせる。実は、この方法、私の真似であるが、大失態だった。線香は火の点いた三つに折れやすかった。

ある日、散歩から帰ると3年の孫が息を殺して泣いている。母親(娘)が子に言う。「あんたーちゃんと自分で言いなさいよ!」孫は泣きながら小声で、「じいじい、座布団焼いた。ゴメン...」。仏壇の座布団がちよっと焼けている。(失敗する可能性のあるものは必ず失敗する)「マーフィの法則」である。「仏壇に参ろうとした心掛けがいい」と、我が心が痛かった。ある日孫はすぐに泣き止み、何事もなかったように遊び始めた。三つに折れた一つの線香が飛び散ったのである。



表紙の写真は大平保育所です

平成30年 第2回 6月定例会 会期：平成30年6月5日(火)～15日(金)

平成30年度 一般会計補正予算

ふるさと納税大幅な伸び!

- 一般質問 **ここが聞きたい! 6人登壇** 6
- 友枝小学校ICT授業視察 12
- 総務産業建設常任委員会町内視察 13
- 住民登場コーナー・こうげ散策・議会傍聴のご案内・編集後記 14